

まちの話題



溢れる気力・体力!!

高度な技術!!

伊佐湧水消防組合
消防救助技術指導会



4月27日、大口消防署で県消防救助技術指導会に向けた署内選考会が行われました。引揚救助、ほふく救出、ロープ応用登はん、はしご登はんの4つの競技種目があり、署内から25人の職員が挑戦しました。

各競技でさまざまな審査基準があり、署内で独自に設けた基準タイムをクリアしなければ県の指導会に出場できません。

また、迅速性のほかにも、安全性・確実性も求められ、競技に取り組む職員の姿から日頃の訓練と鍛錬の成果を垣間見ることができました。

ドラゴンボートとアートトラック

4月29日、暑い1日は“ドラの音”で始まりました。伊佐市菱刈カヌー競技場で行われた「いさドラゴンカップ2012」は、県内外の小学生から九州チャンピオンまで67チームが参加し、250mのコースでタイムを競いました。

また同日、菱刈農村公園では龍桜船団主催の「アートトラックチャリティ撮影会」も開催され、全国から集結した200台



の装飾トラックが、夜は点灯し来場者の目を楽しませました。チャリティで集まった支援金10万円は、東日本

大震災の被災地へ、会場で募金活動をした大口高校音楽部と龍桜船団からの募金5万円は「交通被災者たすけあい協会」へ送られました。



「夏も近づく八十八夜〜♪」

5月10日、大口東小学校の児童55人と近くの老人施設に入所するおばあちゃん6人が、茶摘みで交流しました。

子どもたちは校庭周辺の茶畑で、おばあちゃん達の指導を受けながら、数センチに伸びた新芽を手際よく摘み取り、収穫用の買い物袋をいっぱいにしていました。



摘んだ茶葉は製茶し、6月中旬にみんなで味わうことにしています。

EU があなたの学校にやってくる



出張授業「EU があなたの学校にやってくる」は、欧州連合（EU）加盟国の大使や外交官が、全国から応募してきた高校を訪問し、生徒に EU やそれぞれの出身国について授業を行うものです。

今回選ばれた大口高校では5月14日に開催され、生徒330人をはじめとする保護者や教職員が、講師であるスロヴァキア共和国特命全権大使の話に耳を傾けました。

世界情勢に関心の薄かった生徒たちが大使の話に刺激を受け、日本の良さをより自覚するとともに、他国について積極的に知ろうという姿勢が感じられました。

「農林館まつり」で大行列！



4月13日に伊佐農林高校で行われた「農林館まつり」は、生徒たちが育てた農産物をはじめ更生の素などの加工品を買い求める客が行列をつくり賑わいました。昨年からの登場した白いロールケーキ「キミって白いね」も完売し、販売していた生徒達も盛況ぶりに笑顔を見せました。また、両手で抱えきれないほど購入した人に対し、一輪車を使った“お荷物運び隊”も活躍。

伊佐の農業を支える次代の担い手たちの成長が楽しみです。

新人自衛官が市長を表敬訪問



今春から自衛隊に入隊した伊佐市出身の新人自衛官2人が市長を表敬訪問されました。

真新しい制服に身を包み、緊張した表情で、自衛官としての生活や今後の抱負などを語り、市長からは「伊佐から遠く離れても、故郷を忘れることなく頑張ってください」と激励されました。

そして、2人から「福祉に役立ててください」と寄付をいただきました。ありがとうございました。

今年度の新人自衛官は次のとおりです。
（敬称略・写真左から2番目と4番目）
坂元翔吾（曾木） 竹ノ内翔太（平出水）

竹のようにすくすく育て!!

「竹紙」でできたノートを贈呈



市内で製材業を営んでいる菱刈木材工業㈱から、市内の中・高校生に対し、竹を材料にして作られたノート1,400冊が贈呈されました。

鹿児島県は竹の生産量、面積ともに日本で、竹を使った伝統工芸がたくさんあります。今回贈呈されたノートは表紙が100パーセント、中身は10パーセント竹を使用した竹紙でできています。間伐された竹が有効活用され、竹林が整備されることも期待されます。

市内の中・高校生のみなさん、竹のようにしっかり大地に根を張り、たくましく育ててくださいね。